モジュール構成

合成・分析・計測モジュールは、合成・分析・計測機器、サンプルフォルダ、制御PCから構成されます。 概要 搬送ロボットからサンプルの搬送を受けます。 中央PCからのコマンドと設定ファイルに従って処理を実行し、結果のデータファイルを送信します。 合成・分析・計測モジュール サンプル 合成·分析·計測機器 搬送ロボット ПТ 合成·分析·計測 搬送制御PC 制御PC TCPコマンド 中央PC ステップ管理 TCPコマンド 設定 Data File File 基本 読取 書込 Data 設定 各種管理機能

データ解析担当者

システム管理者

LANの 設定

Ver. 0.02

概要

クラスタシステムでは、過剰なトラフィックの混雑を避けるため、メインシステムのLANを各サブシステム内の LANから分け設定します。各サブシステムの制御用PCはメインシステムのLANとサブシステムのLANの両方 にアクセスできる設定が必要です。



中央LAN	IPアドレス 192.168.0.xxx サブネットマスク 255.255.255.0 中央PCと各サブシステム制御PCとの通信に使用します。 測定データ保存用のNASを接続します。
ステージ制御LAN	IPアドレス 192.168.1.xxx サブネットマスク 255.255.255.0 チャンバーのステージ制御用PLC、タッチパネルを接続します。 サンプルの搬送処理を行います。
合成装置制御LAN	IPアドレス 192.168.2.xxx サブネットマスク 255.255.255.0 合成装置制御用のNI cDAQ、シリアル変換器、スパッタ用PLC、タッチパネルを接続します。 合成処理を制御します。
分析•計測制御LAN	IPアドレス 192.168.3.xxx サブネットマスク 255.255.255.0 分析・計測用機器、電源などを接続します。



プロトコル	TCP/IP	終端文字	CR (0DH)
ポート	8501		
データコード	ASCII⊐−⊦		

	 -
/ / / / /	

通信コマンド仕様

Ver. 0.02

概要	プロセス管理用の中央PCから、合成・分析・計測装置用の制御PCにコマンドを送信します。 サンプルの設置、測定の開始などのタイミングを伝えます。 合成・分析・計測装置はコマンドに応じた応答を返してください。 可能な範囲で1秒毎のメッセージ受信を行ってください。 通信の応答は数十秒単位の遅れが生じても正常に動作します。 中央PC側タイムアウト120秒とし、応答が無い時はエラーと判断します。							
手順	 手順名 ・ステータス確認 ・サンプル設置完了 ・測定条件設定 ・測定開始 ・ステータス確認 ・ステータス確認 ・測定データ確認 ・測定データ確認 ・サンプル回収完了 	中央PC送信 Status Placed SampleA Setting C:¥Setting… Start Status Status Data Collected	サブシステムPC返信 Ready OK OK OK Busy Done C:¥Data¥0123.csv OK	説明 Readyの場合にサンプルを設置します 設置が完了したら通知します 測定条件ファイルのパスを送ります 測定開始を指示します 測定中はBusyを返します 測定完了時にDoneを返します 測定結果のファイルパスを返します 回収が完了したら通知します				
コマンド形式	コマンドの書式は、"C Commandはコマンドの コマンドの種類によっ 末尾に終端文字CR((Command Data"です。 D文字列、次にスペース ては、付加データは省町 DDH)を付けます。	、1文字、Dataは付加デ 格されます。	ータの文字列です。				
コマンド	Status	機能ステ	テータス情報を確認しま	च				
レスポンス	Ready :準備完了 (Ready、Doneを返す (Busy、Errorの後ろに	Busy :操作中 時にはサンプルを設置、 スペースを入れて状況	Done :測定完了 、回収が可能な状態にし を伝える文字列を添付	Error :エラー してください。) できます。 例:Busy Manual Mode)				
			ᆕᇿᅙᇌᅖᇊᆿᆂᇆ	- + +				
	Placed Data	機能サ	ンフルの設置完了を伝	えます				
付加テータ	サンフル名 例:Pla	ced Sample001						
レスホンス	UK :∫ 胖	Error :エフー						
<u> コマンド</u>	Setting Data	楼能 ————————————————————————————————————	定条件の設定値を伝え	≢₫				
<u></u> 付加デ <u></u> タ	測定条件ファイルのこ	アイルパス (冬件を文	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	,可能)				
レスポンス	OK:了解	Error : エラー						
	• • •							
コマンド	Start	機能 測	定開始を指示します					
 レスポン <u>ス</u>	OK :了解	Error :エラー						
コマンド	Data	機能 測	定データを確認し、ステ	ータスDoneをReadyに移します。				
レスポンス	測定データファイルの	ファイルパス (データる	を文字列で添付する方	法も可能) Error :エラー				
コマンド	Collected	機能 サン	ンプルの回収完了を伝	えます				
レスポンス	OK :了解	Error :エラー						

Errorのレスポンスは、装置の異常により測定が続行できない状態で、人の介入が必要な場合に限り使用します。 測定の失敗は、測定データファイルのStatusの項目にFailureと記載してください。 測定値が検出限界を超えた場合、浮動小数点の測定値に正負の方向に応じて+INFまたは-INFを記入してください。 測定ができなかった場合は測定値には非数 (NaN)を記入してください。 測定データの書式は別途決定します。 ファイル仕様

Ver. 0.02

設定ファイル	中央PCから合成・分析・計測制御PCへ設定値を送ります。 タブ区切りのテクストファイル形式で拡張子は.txtです。 フォーマットは、設定値名 タブ 値 改行 設定値名の重複は避けてください。					
例	SP1_Setting20220301 WaitStage WaitGasValve DepoFlowAr DepoFlowN2 DepoFlowO2 DepoFlowH2 WarmUpLwLimit WarmUpTime DepoTemp	_01.txt 5.000000 9.000000 0.000000 1.000000 1.000000 1.000000 10.000000 10.000000				

データファイル	合成・分析	f・計測制御	リ御PCから中央PCへ結果データを送ります。						
	タブ区切り	のテクスト	、トファイル形式で拡張子は.txtです。						
	ヘッダ部分	うに測定結り	結果の項目と値を書き込み、その後に時系列データを書き込みます。						
	フォーマッ	トは、設定	没定値名 タブ 値 改行						
	設定値と問	寺系列デー	ジータの列ヘッダ名は重複を避けてください。						
例	SP1_Log20 StartTime SampleNa RoomTem WaitStage OpenDV7 WaitGasVa DepoFlow	0220301_17 2022/03/(meHiLo perature alve Ar	3019.txt 01 17:30:19 test 24.415183 5.000000 0 5.000000 10.000000						
	 Time 17:30:32 17:30:37 17:30:37	PW1Contr 0.00000 0.00000 0.00000	ol 0.68297 0.05217 0.15073 0.24929	PW1Power 0.36757 0.05217 -0.14496 -0.06611	r PW1Curre 0.00000 0.00000 0.00000	nt 0.00000 0.00000 0.00000	PW1Volta 0.24929 0.32814 0.62383	ge 0.22958 0.24929 0.07188 0.28872	PW2Control 0.00000 0.00000 0.00000 0.00000
	17:30:37	0.00000	0.15073	-0.14496	0.00000	0.00000	0.62383	0.07188	0.00000
	17:30:40	0.00000	0.24929	-0.06611	0.00000	0.00000	0.44642	0.28872	0.00000